

各地域の事例から見えてきた、 森のプログラムづくりの考え方

Q1 完璧なプログラムがなければ、企業とつながれないのでしょうか？

A1

多くの地域では、「完成したプログラムを売る」のではなく、**軸となるサービスを土台に、企業とつながりながら共にプログラムをつくりあげています。**
その共通点は、「丁寧なヒアリング」「地域資源を活かしたサービスの造成」「柔軟なプログラム設計」です。

3つの共通点

丁寧なヒアリング

企業の担当者に寄り添い、背景や目的などを理解することが出発点。

- ・なぜ今、研修を行うのか？
- ・社員にどんな変化を期待しているのか？
- ・なぜ森林に関心を持ったのか など

柔軟なプログラム設計

メインのニーズに加え、「どんな時間にしたいか」という希望に応じて内容を調整。

リフレッシュ、関係性づくり、地域学習など、目的に応じて内容や滞在スケジュールを柔軟にカスタマイズしていきます。

地域資源を活かしたサービスの造成

地域資源を捉え直し、強みを掘り下げる。

- ・森の特徴(種類・状態・管理状況)
- ・人の力(知識・技術・経験)
- ・周辺資源(食・温泉・文化・教育)
- ・既存の活動(観光、林業、教育、福祉) など

地域資源を「俯瞰」してみる。

- ・「点をつなぎ、面にする」
- ・エリアマネジメントの視点
- ・外部組織との連携など

→この地域ではどんなコンセプト・ストーリーが生み出せるだろうか？

Q2 費用対効果の説明や社内決裁がハードルになるのではないのでしょうか？

A2

ポイントは「**企業に求められる場づくり**」と「**目的や効果の言語化**」です。

企業に求められる場づくり

単なる体験提供ではなく、体験の“質”を設計する。

- ・受動的な研修ではなく、参加者が主体的に関われる時間
- ・役割や立場がフラットになる空気
- ・地域との関係性が、自然に生まれる場
- ・自分自身を振り返る内省の時間 など

ファシリテーションや空間設計の工夫が重要です。

目的や効果の言語化

研修の価値を言葉で整理することが、企業連携の第一歩。

- ・どんなプログラムか
- ・どんな課題やニーズに応えるのか
- ・何を目指し、どんな効果が期待できるのか
- ・実際、参加者にどんな変化をもたらしているのか

地域側が「なぜそれを行うのか」を語れることが大切です。



地域から始まる、森業

「決まった型はない。だからこそ、地域からつくることができる」

森林空間利用には、決まった型はありません。

地域にある資源を組み合わせ、複合的に価値を生み出します。

だからこそ、地域ごとに姿が違っていいのです。

地域の森も、人も、課題も異なります。

大切なのは、事例をなぞることではなく、

自分たちの地域を、どう見つめ、どうしたいかを言葉にすること。



企業が求めている
「どんな時間にしたいか」

地域が提供できる
「どんな時間をつくれるか」

価値を共につくる

森林という、私たちの暮らしを支えている、魅力あふれる空間

その価値を社会にひらいていくのは、

自然と共に暮らす地域と、

森林から離れた分野で活動する多様な主体との出会いです。

地域に根づく自然や人の想い、現代社会で本来必要とされている時間を見つめなおし、

自然と人をつなぎ直す取組こそ、森業の真髄です。

その先には、日本が世界に誇る豊かな森を社会と結びつけ、

未来へとつないでいく道が続いています。



次の一歩のために

企業との連携や、事業としての成立を見据え、

「誰を対象とするのか」「何から始めるのか」「どうサービスを磨いていくのか」を

考える際には、森業のネットワークもご活用ください。

各種支援事業やイベント情報など、最新情報は裏面へ

今後の取組に向けた情報

これからの森業のポータルサイト

森業 portal

森林と人、森林と企業がつながっていく 情報発信ポータル「森業portal」

林野庁では、木材供給にとどまらない森林の多面的な機能に価値を見出し、より多くの人々が森林に携わる取組を新たに「森業」として推進しています。都市と地方の連携や、これまで農林水産分野と関わりの少なかった企業等との共創により、森林空間の価値を最大限に引き出し、地域経済に新たな恩恵をもたらす挑戦です。

森業portal

検索



https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/morigyo.html

林野庁

【お問い合わせ先】

林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室 山村振興企画班

TEL:03-3502-0048 E-mail:forest_style@maff.go.jp

[発行元] 林野庁 [発行日] 2026年2月 [編集] 株式会社さとゆめ [デザイン・制作] 株式会社キュー

[本冊子は、(株)さとゆめ・(公社)国土緑化推進機構・(株)HISが受託した令和7年度林野庁「森林コンテンツ育成・普及対策事業」の一環として発行します。]

※掲載の情報は2026年2月現在のものです

※本冊子掲載のイラスト・図・写真の無断複製・転載・2次利用をお断りします